

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



令和四年、笑門来福。

縁結び、開運招福、商売繁盛、  
五穀豊穰、医薬医療―。  
高瀬神社の神様は福の神、  
大国さまです。

## 一月・二月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／一月は十三日のみ）  
歳旦祭（二月一日）  
元始祭（二月三日）  
昭和天皇祭（一月七日）  
天神祭（二月二十五日）  
節分祭（二月三日）  
紀元節祭（二月十一日）  
祈年祭（二月十七日）  
天長節祭（二月二十三日）



## 壬寅の年頭にあたり

宮司 藤井秀嗣

令和四年のお正月を迎え、皇室の弥栄、国家の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸をお祈り申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスの蔓延拡大で大都市では緊急事態宣言が、地方都市でも蔓延防止等重点措置が発令されました。一時は大変な危機感がありました。ところが急に感染者数が減少しました。その理由は明確ではありませんが、ワクチン接種効果と国民の感染防止意識（真面目さ）が大きく影響したことは間違いありません。

当神社では、令和二年二月から感染防止対策として、全てのお祭りを参列者なしで斎行してきましたが、昨年十一月二十三日の新嘗祭は通常通り、参列者をお招きして斎行しました。一年九か月ぶりに賑やかなお祭りとなり、大神様もお喜びになりましたことと思います。

新嘗祭は、その年の仕上がり具合（結果）を奉告するお祭りですから、良い形で締めくくることができ、明年の祭儀はこれまで通りに斎行できるのではないかとという希望をもっていました。ところが、その後すぐに新しいウイルス株が出現し、再び不安な状況になりました。油断することなく、引き続き感染防止意識をもって対応して行かねばなりません。

昨年、コロナ騒ぎの最中にオンラインピックが開催されました。多くの感染者が出るという予測に反して無事に終えることができた、IOC会長は成功だったと評価しました。日本は世界的に見ても感染者数を抑えている国であり、日本以外の国では開催できなかったかもしれない。日本国民一体となった真面目な取り組みがあったからこそその成功だったのではないでしょう。か。マスクはあまり評価しま

せんでしたが、もっと讃えても良いと思います。

今後、変異ウイルスの発生をはじめ次々と新しい心配ごとが出てくると考えられますが、どれも克服しなければならぬことです。弱気にならず、これまで実践してきた対策に、これから実践される新たな対策を加えて、苦難を乗り越えるという覚悟をもって対応したいものです。

令和四年は壬寅（みずのえとら）の年。壬は厳冬を耐えている陽氣を表し、寅は春の芽吹きを待っている様子を表しているそうです。辛く厳しい冬はいずれ終わり、暖かい春がやって来ます。冬が厳しければ厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、明るく華やかになります。

新しい年はコロナ禍の不自由な日常から以前にも増して大きな喜びのある日常に戻る年になつてほしいと期待しています。何事にも希望と自信をもって、前向きな年になるよう取り組みましょう。

令和四（壬寅）年  
皇紀二六八二年

## 謹賀新年

名誉宮司 藤井秀弘

宮司 藤井秀嗣

禰宜 藤井典弘

長谷川宏幸

権禰宜 岩田智典

山森信人

巫女 五反日乃

米田亜依

畠山愛梨

参集殿 中井直美

支配人 辻百華

山田瑠菜

嘱託 上口友子



# 新嘗祭斎行

―篤農家表彰並びに感謝状授与式―

恵みの雨に菊花薫る十一月二十三日、その年の五穀豊穡を大神様に感謝申し上げ、氏子崇敬者の益々の繁栄を祈念する、令和三年最後の大祭「新嘗祭」を斎行しました。

一昨年の祈年祭以来、およそ一年九ヵ月ぶりに大勢のご参列をいただいていた本祭典。ご神前には、この日の為に奉納いただいた米・野菜など、多くの農作物がうず高く供えられました。

また、令和三年の参向使は「なんと農業協同組合」代表理事組合長上田憲仁氏、「献穀の儀」には本



年度献穀田奉耕者 青山雄一郎氏、井波地域農業者会会長 水野敬一氏、同稲作部長 西村精志氏にそれぞれご奉仕いただきました。

祭典に引き続き、奉耕者の青山氏に感謝状、また、平木哲氏、地崎光啓氏がそれぞれ篤農家表彰を受けられました。



感謝状、篤農家表彰を受けられた皆様

## 十月十五日、金婚祭。

これからも、いつまでも。

<千寿会>  
岩倉 節三 ご夫妻  
美穂子 正昌 ご夫妻  
中嶋 幸子 ご夫妻  
大和 秀夫 ご夫妻  
美津枝  
<福寿会>  
斉藤 隆 ご夫妻  
つる子  
心よりお祝い申し上げます

この日、実り豊かに歳を重ね、めでたく五十回目の結婚記念日を迎えられた四組の高瀬地区のご夫妻のお名前が、宮司によりご神前に奏上されました。祭典に引き続き、皆様には高瀬地区老人クラブ連合会よりの「金婚状」と「金杯」が手渡されました。

いずれも、ちようど五十年前に高瀬神社で結ばれたご夫妻。皆様の今後益々のご健康とご多幸をお祈り致します。



金婚状を受けられる大和ご夫妻



## 剣道大会奉告祭 斎行

秋空も高く澄みわたる九月二十日、当神社責任役員、また砺波剣友会会長 牧本雄一氏、同理事長 小西十四一氏を始め役員の皆様ご参列のもと、剣道大会奉告祭を斎行しました。

令和二年に続き、昨年も感染症拡大防止の観点から奉納試合は行われず、剣士の皆さんの武芸の上達と身体健全を祈願する祭祀を厳修、直前まで大会の開催準備にあたられていた役員の皆様は、それぞれの想いを胸に玉串を奉り、剣の道の発展を祈りました。





念しました。



祭事曆

4

# 献穀田だより 抜穂祭齋行

― 稔りの秋に感謝。 ―



九月十九日、高瀬神社献穀田において「抜穂祭」を齋行しました。

抜穂祭は、五月の御田植祭で植えた稲を刈り取り、大神様の御恵に感謝するお祭りです。

当日は五名の早乙女により「抜穂の儀」が行なわれ、見事に稔った美しい稲穂を、



心を込めて刈り取りました。

収穫された稲は当神社の新嘗祭、また「懸税」として伊勢の神宮の神嘗祭に供えられました。

株式会社縄合屋による奉製風景

## 注連縄奉納奉告祭

― 拝殿注連縄に願いをこめて ―



心をこめて、丁寧に奉製していただきました。

### 注連縄奉納講

奉賛者芳名

- 株式会社縄合屋
- 有限会社石森石材
- 株式会社越路ガーデン
- チュリッパ交通株式会社
- 旅亭みや川
- 有限会社丹保建設
- アルカスコーポレーション株式会社
- 大和トランスポート株式会社
- となみ衛星通信テレビ株式会社
- となみ観光交通株式会社
- 日の出屋製菓産業株式会社
- 有限会社さつき堂
- 中村屋
- 株式会社島川
- 藤森工業株式会社
- センダン電子株式会社
- オーバル
- 株式会社三楽園
- 富山総合ビルセンター株式会社
- 農事組合法人ファーム八乙女
- 東洋通信工業株式会社
- 有限会社庄川建鋼
- 宮窪電気商会
- 株式会社雄神トラベル
- 南部スタジオ
- アンヘルハート
- 株式会社みつ和
- 株式会社ブライダルコアあなだ
- ミヨ美容室
- 名鉄観光サービス株式会社富山支店
- 庄川町商工会
- 北島 嘉孝
- 岡田 春雄
- 石川 憲明

(順不同・敬称略)

「一年の計は元旦にあり」。高瀬神社は、福の神として広く崇敬をあつめる大國主命(大國さま)をお祀りしています。この令和四年が輝かしき年、実りの多い一年となりますよう、心を込めて「新年初祈禱」をご奉仕いたします。



御幣串はお持ち帰りいただき、ご家庭でお祀り下さい

## 令和四年 新年初祈禱のご案内



◎特設祈禱受付入口よりお進み下さい。

**期間** 元日より節分の頃迄にご参拝下さい  
**受付** 午前九時から  
 午後四時三〇分迄  
 ※元日は午前零時から  
 午後六時頃迄  
**ご祈禱料**  
 一件につき五〇〇〇円より

### 新型コロナウイルス感染症

#### 拡大防止対策について

当神社では、感染症拡大防止対策として、拝殿に次亜塩素酸空気清浄機・飛沫感染防止パテーションを設置、また申込書ご記入に際しまして、各々に新品のボールペンをご用意し、ご使用後にお持ち帰りいただいております。どうぞ安心してご祈禱をお受け下さい。



## 大国さまの処方せん ③

「コロナ終息のシナリオその2」

南砺市民病院 副院長 品川 俊治

二〇一九年十二月に武漢に始まったコロナ禍はやがて二年を経過する。当初多くの感染者が重症化し死亡し、全世界が恐怖し、渡航禁止や都市のロックダウンにより不自由な暮らしを強いられた。二〇二二年初頭から始まったワクチン接種が奏功し、二〇二二年十一月現在、日本においても収束しつつある。ここ富山に至っては何ヶ月振りであろうか、一週間以上新規患者発生がなくコロナでの県内の入院患者はゼロと聞く。冬季になり低温と乾燥による第六波が懸念される。ところであるが、各国でコロナウイルスの治療薬が開発され、有望なものがすでに第三相の試験に進んでいる。これらが上市されれば、コロナウイルスはいよいよ脅威ではなくなる。十二歳以下の小児へのワクチン接種も始まり、十二月にも

染者の約半数が死亡するという恐ろしいものであった。コロナ禍でたまった鬱憤を、少しばかり羽目をはずし晴らしたいところだが、年末年始、少なくとも春先までは感染防止策を維持し、静かに家族と過ごすことをお願いしたい。

もちろん初詣の大黒様への願掛けは、「コロナ禍の一日も早い終息」ということ

品川俊治先生

南砺市民病院 副院長

内科部長／呼吸器センター長

富山医科薬科大学医学部医学科

(現 富山大学医学部) 卒業。

長年に亘り北陸地域の呼吸器

疾患の治療に携わり、「患者さ

んに寄り添う、全人的な医療」

を目指し、日々診療にあたっ

医薬医療の神として知られる大国主命（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

## ご奉納御礼

【日章旗】

【黒豆】

【初詣高張提灯】

【琴】

【初穂米】

【神饌米】

【里芋】

大和彌尋夫 殿

岩倉 清司 殿

南部スタジオ 殿

岩倉 勲 殿

小石 達人 殿

井波地域農業者会 殿

青山雄一郎 殿

岩倉 和弘 殿

寺西 雅典 殿

河原 祥滋 殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

## 月次祭参列のご案内

当神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭参列のご案内をしています。ご希望の方は社務所までお問い合わせ下さい。

日時 毎月一日・十三日

午前十時（一日を除く）

## 安産祈願 戌の日カレンダー

|    |            |    |            |
|----|------------|----|------------|
| 1月 | 9日・21日     | 4月 | 3日・15日・27日 |
| 2月 | 2日・14日・26日 | 5月 | 9日・21日     |
| 3月 | 10日・22日    | 6月 | 2日・14日・26日 |

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。





# 御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

令和三年九月一日〜十一月三十日

(順不同・敬称略)

現在進捗中の本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。誌上より厚く御礼申し上げます。

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 伊藤 真  | 山田 省子 | 坂田 満  |
| 【五千円】 | 中田 和子 | 高木輝志子 |
| 津田 久則 | 中田 眞作 | 木挽 大晴 |
| 津田 敏則 | 布島 武志 | 小泉 由和 |
| 布島 武志 | 鈴木 祐司 | 清水 知示 |
| 宮崎 毅  | 銅板奉納者 | 稲葉 靖  |
| 齋藤 紀夫 | 山口 清二 | 柴田 直子 |
| 金瀬 昭子 | 小泉 由和 | 垣見希宗子 |
| 酒道美恵子 | 安田 好司 | 岩田 博之 |
| 【二万円】 | 石見 昭友 | 富安 拓良 |
| 新保 正子 | 岡田 春雄 | 千葉 真  |
| 【二万円】 | 岡崎 琥珀 | 永井 堅治 |
| 中木 秀明 | 岡崎 則美 | 牧本 雄一 |
| 水上幸次郎 | 岡崎 敬之 | 牧本 雄大 |
| 根尾 紘一 | 平林 正道 | 中田 敏則 |
| 【三万円】 | 長谷川和代 | 平野 拓美 |
| 石岡 和俊 | 中井 啓之 | 中井 啓之 |
| 【五万円】 | 菊野 守彦 | 生田 素子 |
| 米田 智子 | 日登美   | 亀卦川幸夫 |
| 【十万円】 | 松木 基祐 | 石川 二郎 |



## 節分祭 豆まき神事のご案内

とき 令和4年2月3日(木) 午後3時  
ところ 高瀬神社 拝殿

古く節分は、「季節の変わり目」を表す言葉であり、立春が一年の始まりとする考えに基づき、この節目を特に「節分」と呼ぶようになりました。そして、季節の変わり目には災厄が生じるとの古い信仰から、現在も各地で豆まきなどの「追儺神事」が行われています。

越中一宮高瀬神社の豆まき神事に、どうぞご参加下さい。

状況により、ご昇殿人数の制限など、感染症対策へのご協力をお願いすることがあります。

懐かしいご友人や仲間との再会はいもの。賑やかな同窓会やお食事会のままならない今だからこそ、今年はゆっくり皆様揃いで「厄祓」のご祈禱をお受けになつてみてはいかがでしょうか。懐かしい同級生と、「笑顔にマスク」の新しい思い出を。

## 同級生と厄祓を

期 間 2月3日の節分の頃まで  
ご祈禱料 お1人 5,000円より  
思召しにて承ります。

ご希望の方は社務所まで  
お問合せ下さい。

電話 0763 (82) 0932



## 表紙絵

「令和四年干支絵馬」  
当神社巫女五反日乃描く。  
今年の目標は「虎に翼」?

## 編集後記

一富士二鷹三茄子!。  
一般に「初夢」は元日の夜から二日の朝にかけてみる夢を指す

そうである。世界中の未来ある人たちが、安心して夢を語り合える令和四年の訪れが、どうか正夢になりますように。(智)

## 令和4年 厄年・身祝一覧

〈厄年〉数え年

|   | 前 厄 |          | 本 厄 |          | 後 厄 |                     |
|---|-----|----------|-----|----------|-----|---------------------|
| 男 | 24歳 | 平成11年(卯) | 25歳 | 平成10年(寅) | 26歳 | 平成9年(丑)             |
|   | 41歳 | 昭和57年(戌) | 42歳 | 昭和56年(酉) | 43歳 | 昭和55年(申)            |
|   | 60歳 | 昭和38年(卯) | 61歳 | 昭和37年(寅) | 62歳 | 昭和36年(丑)            |
| 女 | 18歳 | 平成17年(酉) | 19歳 | 平成16年(申) | 20歳 | 平成15年(未)            |
|   | 32歳 | 平成3年(未)  | 33歳 | 平成2年(午)  | 34歳 | 昭和64年(巳)<br>平成元年(巳) |
|   | 36歳 | 昭和62年(卯) | 37歳 | 昭和61年(寅) | 38歳 | 昭和60年(丑)            |

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。  
\*...この年を厄とする地域もあります。

〈身祝〉数え年

|    | 年齢  | 生まれ年     |
|----|-----|----------|
| 還暦 | 61歳 | 昭和37年(寅) |
| 古希 | 70歳 | 昭和28年(巳) |
| 喜寿 | 77歳 | 昭和21年(戌) |
| 傘寿 | 80歳 | 昭和18年(未) |
| 米寿 | 88歳 | 昭和10年(亥) |
| 卒寿 | 90歳 | 昭和8年(酉)  |
| 白寿 | 99歳 | 大正13年(子) |

※男女ともに祝います。



## 結びの杜の神前式

縁結びの神様、大国主命をお祭りする越中一宮。

日常を隔てる境内で、玉砂利を踏みしめて歩く参進の儀に始まり、杜殿に響き渡る雅楽の調べの中、厳かな神前式が執り行われます。

大国様の「結び」の御神徳によりお二人だけではなく、両家の絆も固く結ばれます。



四季折々の境内で  
ロケーションフォトを満喫



一日一組限定のおもてなし

完全な  
プライベート空間で  
和やかな宴会が実現  
すべては一組の  
新たな夫婦の幸福のために



オープンエアな  
プライベートテラスで  
開放的な演出が実現



結婚式をあきらめないでください

二人だけでも結婚式はできます。

「だったら、家族は欠かせないかな。」

「折角だから、親戚のみなさんだけでも。」

「できれば、近くに住む友人くらいは…」

列席を減らすのではなく、無理なく増やす。

そんな考え方で結婚式を叶えてみませんか。

挙式のみ、少人数会食、  
高瀬神社は結婚されるすべての方を歓迎しています。

あなたの人生に、神社がある。

越中一宮 高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索



高瀬神社LINE



高瀬神社HP